

漢方の痛みと風邪の薬

風治散

第2類医薬品

(顆粒)

『風治散の特長』

風治散は漢方治療の古典の一つである「傷寒論」に記載されている本来は煎じて服用する葛根湯をエキス化して飲みやすく、はやく吸収されて効果が出るように顆粒剤にしたものです。

風治散はかぜのひきはじめて「何となくさむけがする」「くしゃみがでる」「首筋や背中がこわばる」「熱があるのに汗がでない」などの症状や肩こりや筋肉痛などに服用してください。



鼻かぜ



悪寒



頭痛



手や肩の痛み

⚠ 使用上の注意



■ 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人。
(体力の衰えている人、体の弱い人)
 - 胃腸の弱い人。
 - 発汗傾向の著しい人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1ヵ月位（感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

効能・効果

体力中等度以上のものの次の諸症；

感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み
用法・用量、成分・分量、保管及び取り扱い上の注意については、裏面をご覧ください。

用法・用量

次の量を食前又は食後に、温湯又は水にて服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
大人(15才以上)	1包(2.5g)	3回
15才未満～7才以上	2/3量	
7才未満～4才以上	1/2量	
4才未満～2才以上	1/3量	
2才未満	服用しないこと	

用法・用量に関連する注意

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量

3包(成人の1日服用量)中

成分	分量	
カッコン (葛根)	4.0g	水製エキス 2.8g (日局葛根湯エキス)
マオウ (麻黄)	3.0g	
ショウキョウ (生姜)	1.0g	
タイソウ (大棗)	3.0g	
ケイヒ (桂皮)	2.0g	
シャクヤク (芍薬)	2.0g	
カンソウ (甘草)	2.0g	

添加物として
デンプン含有します。

(注意)

本剤は、生薬を用いた製剤ですので、製品により色が多少異なることがあります。効果に変わりありません。

かぜ薬の効果的なのみ方

かぜの症状があらわれたら早めのみ始め、かぜを軽くすませましょう。

年齢に応じて決められた量を、胃腸の負担の少ない食前又は食後 30 分以内のみましょう。

寝たまのままに、必ず起き上がってコップ1杯ほどのお湯または水で、かまずにのみこみましょう。

中断するのはよくありませんが、もしのみ忘れたら、気づいた時の次の食前又は食後から再度決められた量のみ始めましょう。

効きめがあって、かぜの症状がなくなった時が薬をやめる時です。しかし、副作用があらわれたら中止します。



保管及び取り扱ひ上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 1包を分割して服用する場合には、残りは袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。

お問合わせ先

本剤について何かお気付きの点がございましたら、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

株式会社和漢薬研究所 お客様相談室
0120-432-894 (フリーダイヤル)

[月～金曜日 / 10:00～12:00 13:00～17:00 (祝祭日を除く)]

製造販売元：株式会社 **和漢薬研究所**

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山1193

発売元：**カポニー産業株式会社**

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 (日本公衆衛生協会ビル)